

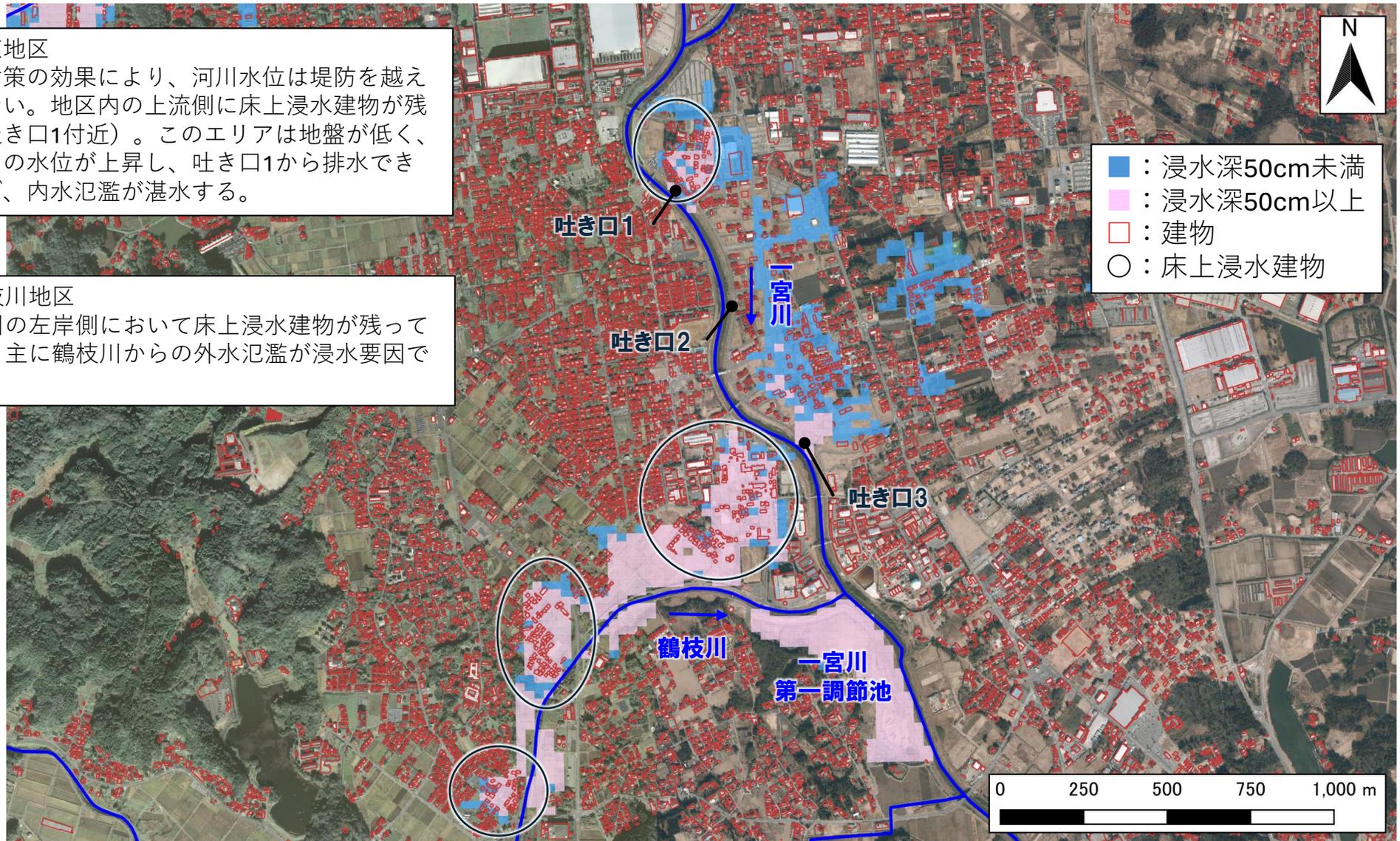
R11時点の残余リスク (③大芝地区、④鶴枝川地区)

③大芝地区

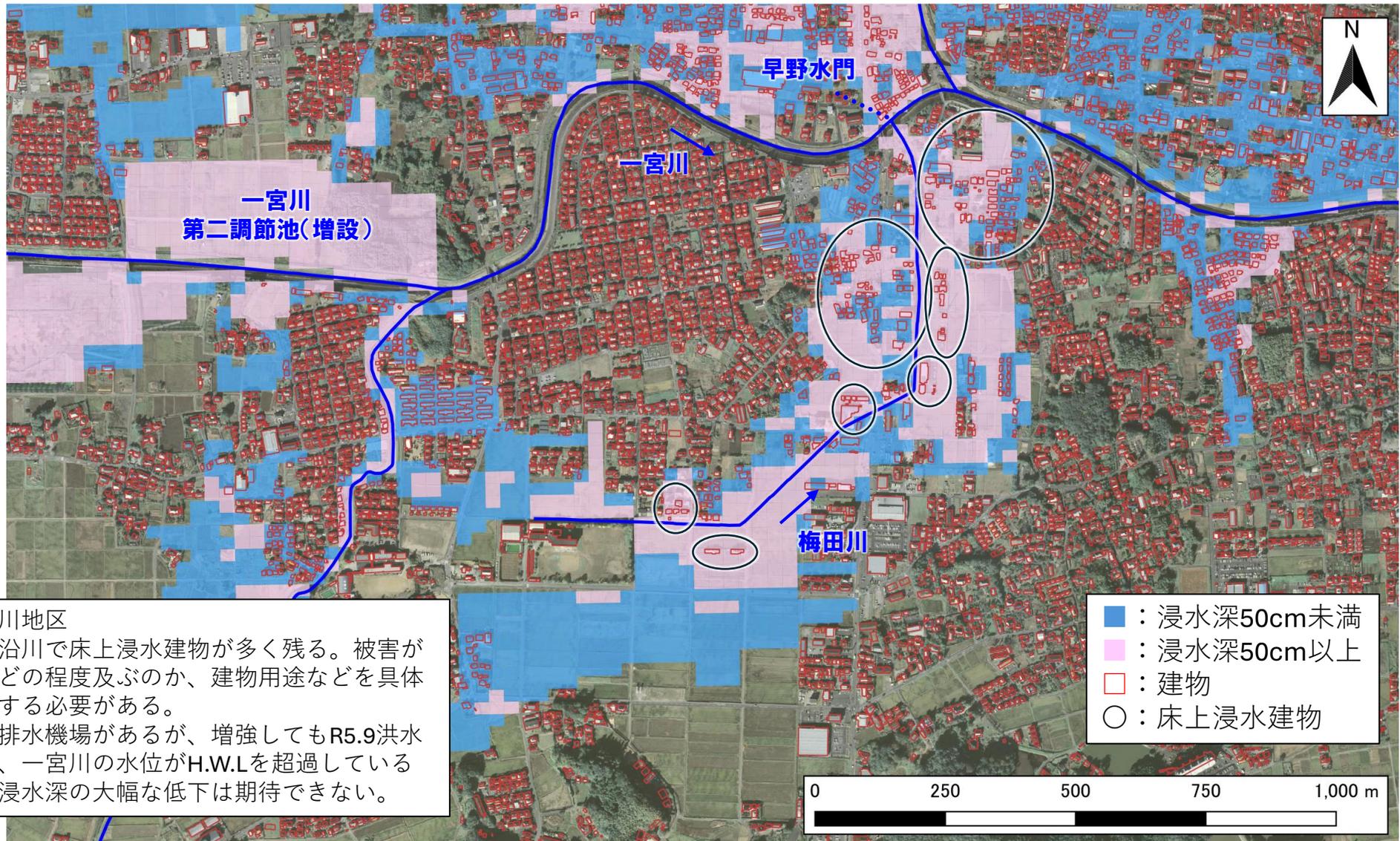
河川対策の効果により、河川水位は堤防を越えていない。地区内の上流側に床上浸水建物が残る（吐き口1付近）。このエリアは地盤が低く、一宮川の水位が上昇し、吐き口1から排水できなれば、内水氾濫が湛水する。

④鶴枝川地区

鶴枝川の左岸側において床上浸水建物が残っている。主に鶴枝川からの外水氾濫が浸水要因である。



R11時点の残余リスク (⑤梅田川地区)



R11時点の残余リスク（⑥茂原西地区、⑦豊田川地区）

